

新工業団地の整備について

高知県

☆今後の新工業団地の整備については慎重に行う方針

○現在、共同開発を行っているのは高知市・南国市

・H29,30に完成予定

・市町村単独でも整備できるが、前例はない

⇒市町村への補助金あり

・両工業団地の分譲に目処が立てば次を整備

⇒両工業団地ともに分譲開始後まで企業への募集は行わない

・南国市はH25に県が行った適地調査で手を挙げた

○企業へのニーズ調査

・主に県内企業に対して行う

⇒県外企業にも行うが良い結果は望めない

・ニーズ調査の結果により新工業団地の整備を検討

○県外企業の誘致が厳しい現状

・南海トラフ地震

・首都圏からの距離による運送費用

・土地代が安くはない

⇒首都圏の近くにも同額程度の工業団地がある

・県内での移転では県にメリットがない

香美市

☆テクノパークへの誘致を進め、新工業団地の候補地を探る

○テクノパークへの誘致

・残り3区画

・用途制限の緩和

⇒一般製造業を含めることで門戸を広げる

・工業用水

⇒現在の立地企業は利用していない。団地造成時、工業用水は企業誘致の条件であったが、昨今の環境を重視する企業は節水意識が高く、循環水を用いており、必ずしも必要な条件ではなくなっている。

○新工業団地の適地調査

・H25に検討を行ったが適地がなかった

⇒適地になり得る4箇所ほどを検討した

・調査士(コンサル)に依頼しての適地調査を検討

⇒香南市では実際に依頼して調査を行った

○適地調査の現状について

・圃場整備された地区には整備し難い

⇒旧土佐山田町は農業を基幹産業と位置付け、広範囲で圃場整備を実施してきた経緯があり、工業団地への転換は農業者の合意形成と共に市政の転換も必要となる。

・香北、物部は地理的に不利

・空港、IC、津波関係など県内では有利な土地